

会 議 録

記録者：事務長 櫻田 優浩

| | | | |
|--|---|----|--------------------------------|
| 会議名 | 第3回学校協議会 | 日時 | 平成30年1月15日(月) 15:30 ~ 17:00 |
| | | 場所 | 豊島高等学校 校長室 |
| 出席者 | 委員側：芝田 正夫、里村 潔、大石 なつ美、家島 明彦、安藤 京子 学校側：羽根 隆、吉田 隆、福井 幹和、甲田 也寸志、櫻田 優浩、田中 智晃 | | |
| 議 事 内 容 | | | |
| <p>1 本校の現状報告と取組</p> <p>(1) 学校長より 今年度経営計画及び学校評価について</p> | <p>1 本校の現状報告と取組</p> <p>(1) 学校長より：生徒の授業アンケートの結果がまだ業者から戻ってきていないので、それについては、今回お答えできない。</p> <p>宿題、課題：生徒はあまり出されないと感じている。逆に先生の方では、よく出しているという回答が多くギャップがある。</p> <p>予習・復習：生徒がしなくて大丈夫と考えているのは、回答に座学・実技系の両方が含まれている事が原因かも知れない。</p> <p>進学実績：現時点での大学合格者数を別途進路から報告する。補助金の関係で大学側も合格者数を絞ってきている。目標をクリアできるかどうかである。</p> <p>遅刻者数：前回は上回る現状で、目標はクリアできそうにない。本校は、遅刻してもカードを記入してから教室に向かうシステムを取っていない。そのまま教室に入るので細かいデータが取れず、正確な実態が把握しにくい。</p> <p>学校教育自己診断</p> <p>学校が楽しい：肯定率が下降気味である。体育祭の応援について満足度は高い。文化祭については、1日ではなく、2日または1.5日にしようと言う声が上がっている。</p> <p>部活動参加：全体的に下降気味であるが、1年生だけでみると80%に達しており、回復傾向は見られる。学習もクラブも両方頑張ってもらいたい。</p> <p>満足度：3年連続で下がっている。但し、3年生だけは満足度が高い。対策が必要である。</p> <p>人権尊重：命の大切さについては、肯定率が上昇している。</p> <p>家庭学習時間：2年生の25分と言うのが妥当なところか。あと10分以上は伸ばしたい。</p> <p>調べ学習：生徒の発表に関しては、肯定率が上昇している。</p> <p>勉強合宿：一昨年65人、昨年45人と施設の受け入れ上限人数参加で、大満足している。</p> <p>地域への社会貢献：硬式野球部・バスケットボール部の清掃活動は地元の方から感謝の声をいただいたりしている。</p> <p>国際交流：韓国やオーストラリアの学校と盛んに交流を行っている。オーストラリアのモドボリー高校とは姉妹校提携しているが、10週間の短期留学の受入提案が来ている。費用としては破格の半額。</p> <p>A委員：生徒が、宿題が多くないと感じている理由として、学力が高いのであまり負担に感じないのかも知れない。生徒の主観的な評価だけでなく、先生の主観的評価や客観的データで分析し直して見てはどうか。むしろ、生徒の学力が上がっているという見方もできるかも知れない。数字だけにとらわれないことも大事。</p> <p>B委員：生活実態の調査で、23分～30分くらいしか勉強していないという事が気になる。学力についてどうなのか。</p> <p>校長：授業外学習のデータがない。入学時の学力＝卒業時の学力ではないと考えている。</p> <p>C委員：生徒の肯定率の表が50%を切っている項目が非常に気になる。自分の学校ならどうするかと考えてしまう。普通科コース制になって変化して来た。仮に自分の学校なら、人事構成を考えてしまう。こう着状態が起きると、若干入れ替わりはある。</p> <p>D委員：将来の事を考える機会が上がっているのが、すごく良いと思う。また、学校に行けない子がいるのは、どうなっているのかと思う。</p> <p>E委員：予習復習、課題が、肝心の学力向上に結び付いているのかどうか。大学に入ったかどうか、生きる力はどう計るのか、色々な事をやって、立ち位置を考えないといけない。</p> <p>校長：本校は大学・就職・それぞれの進路を保証してやる学校。たくさん仕事をしなければならぬ立ち位置であると思う。</p> <p>(2) 教頭より</p> <p>学校教育自己診断は生徒・保護者・教員の3種類ある。</p> <p>生徒：肯定率が50%を切っているものがある。学校のカウンセリング体制を充実させていく必要がある。生徒の体育祭、文化祭の満足度が低い。生徒の自尊感情、仲間と協力しながらの生徒の達成感を向上させないといけない。進路の情報、生き方、人権教育については段々上がっている。学校が楽しいと回答したのは、3年生が高く1～2年生は低い。様々な相談を</p> | | |

| | |
|----------------|--|
| | <p>気軽に出来て、もう少し密になる様にしてはどうかと思う。学年進行に従って概ね高くなっている。</p> <p>教員：去年と比べると、今年の方がプラスになっている。但し、やや右肩下がりで、昨年が低くなっている。</p> <p>保護者：回収率 74%。</p> <p>A委員：生徒、保護者、教員で同じような項目を比較分析してはどうか。ある項目が高いとき、他の項目も高いとかを調べる相関分析は簡単にできるし、満足度の分析とか他にも様々な分析が可能。グラフの真ん中が高い山型か左右が高い谷型か、実際の分布を調べることも重要。データをもっと活用してもらいたい。</p> <p>B委員：かけがえのない友人に会えたという項目が高い一方で、教員と日常の話し合いが出来ていないという点と教育課程が進路保障に繋がっていないというのが気になる。</p> <p>E委員：カリキュラムの問題があるのではないか。</p> <p>校長：普通科総合選択制の教育課程を引きずっている感がある。</p> <p>C委員：中学校の立場からすると、中学生を高校に希望を持たせて送り出したい。豊島を選ぶ子供がどんな気持ちで行ったかが命題になる。</p> |
| (3)進路指導部より | <p>(3) 進路部長より</p> <p>現3年生：12月末現在で、指定校、AO入試で把握している数。今年度から大学定員の厳格化があり、各大学とも人数を絞っているので、苦戦を強いられている。</p> <p>A委員：頑張してほしい。指定校推薦・公募推薦が多く、一般入試が少なくなって来ている。秋に決まってしまうのが現状。一方、一般入試で沢山採るところもあるが、1～2年のうちから、キャリア形成にも関わってくるので、1～2年生に知らせるのは良いのではないか。</p> |
| (4)教頭より | <p>(4) 教頭より (校則について)</p> <p>髪に手を加えるのはダメと言っている。自然の色で登校するよう指導。手を加えるのはダメというのが基本スタイル。入学のときに話をしている。いつでも面接を受けられるスタイルを心掛けるように呼び掛けている。</p> <p>C委員：LGBTの対応はどうか。</p> <p>校長：女子のスラックスも対応している。対応の準備をしておかなければならない。何かあった時は、生徒心得の冊子が抛り所になる。</p> <p>B委員：髪の毛、今の時代どうなのか。普通に洗うだけで茶色になる。毎日髪を洗い、ドライヤーすれば、自然と髪が茶色になっていく。</p> <p>教頭：こちらが想定しているのは、極端な色の変化だけです。</p> <p>B委員：アメリカに留学していたとき、日差しがきつくて、日光で髪が茶色になってしまった。日本に帰国してから、すごく目立った。</p> <p>校長：校則の不適切な部分を指摘していただければと思います。</p> <p>B委員：文章の表現が分かりにくいということだけ。</p> <p>A委員：規則違反が法に触れて罰金や処罰の対象になったり加害者として慰謝料を支払わないといけなくなったりするリスクを説明することも大事ではないか。</p> <p>C委員：自転車通学のヘルメット着用はどうか。</p> <p>校長：ヘルメットは着用はさせていません。</p> <p>C委員：箕面では、ヘルメットを被らないと認めないことになっている。</p> |
| (5)次年度経営計画について | <p>(5) 次年度経営計画策定に向けての意見 (校長)</p> <p>今月末までに、次年度の学校経営計画を策定する。今年で普通科コース制への改編が完成する。それに伴って、教師減となる。クラス数で教員定数も決まる。</p> <p>A委員：数値の指標も大事だが、数値にばかり気を取られて生徒の指導・ケアが疎かになってはならないので、数値を気にしすぎないことも大事。豊島の強みと弱みを把握するために、SWOT分析を行うとよい。取捨選択が重要。詰め込まず引き算で考える。高すぎる目標を設定して自分で自分の首を絞めないことが大事。</p> <p>(6) その他 (校長)</p> <p>この4月から、学校協議会が学校運営協議会に移行する。メンバーとしては、来年度も同じメンバーでお願いしたいと考えている。若干規則が変わると思う。経営計画を承認するという形になる。ソフトランディング的に考えている。</p> |